

江極だより

発行所
 同窓会事務局
 熊本市出水4丁目1-2
 電話 (096) 372-5311
 三嶋 勝彦
 http://www.yusinkan.com
 同窓生数 8087人

同窓会は本校生徒の「湧心魂...愛・誇り・自立」を応援します 卒業生が8000名を超えました

校訓 自主・責任・創造

『会則を一部改正しました!』



同窓会長 平川 誠二

つねに前へ!

新年 あけましておめでと
 うございます
 みなさまにはお元気で新年
 をお迎えのことと思います。

同窓会会員、教職員の皆様
 には、日頃から同窓会活動に
 ご理解とご協力を賜り、厚く
 御礼申し上げます。昭和五十
 八年三月の一回生から二十九
 年をへて、卒業生が八〇八七
 名となりました。

さて、昨年国内では、三月
 十一日におきました東日本大
 震災及び福島原発事故、世界
 では、中東地域での民主化な
 ど政治的要素の紛争、タイの
 大洪水等など、世界中が大き
 な危機に遭遇した一年でした。
 同窓会では、平成二十三年

六月十八日の第一回役員会に
 おいて、平成二十二年度の事
 業報告、決算・監査報告、二
 十三年度の行事・予算の審議
 を行ない満場一致で可決承認
 されました。行事では、通信
 制前期卒業式への出席が新た
 に加わりました。また、会則
 の一部改正を行ない、つねに
 前進する同窓会を目指します。

昨年度の会報に学年代表の
 状況を報告しましたが再掲し
 ますと昭和五十八年三月同窓
 会発足以来二十七年、学年代
 表委員の年齢も高齢化が進み、
 宛先不明・ご逝去・病氣治療
 中・介護・仕事や老人会・自
 治会役員等多種多様な事象の
 為、同窓会活動に出席できな

い状況で誰かと交代したい、
 辞退したいが後任がいらない旨
 の連絡を多くの学年代表委員
 の方から頂いていましたので、
 役員会で検討を行ない学年代
 表委員から若干名を同窓会へ
 の貢献度・出席状況などを考
 慮し、上限をもうけて部会代
 表執行役員とし、二年の任期
 で交代できるように改めまし
 た。会則については(2)面に内
 容を掲載いたしましたのでご
 覧ください。



湧心館高校長 坂本 道行

同窓会の皆さまへ 「母校」への想いを受け止めて

新年あけましておめでと
 うございます。本年もどうぞよ
 ろしくお願いいたします。
 同窓会の皆様には、日頃か
 ら物心両面に渡り、本校への
 温かい御支援・御協力を賜っ
 ておりますことに、心から感
 謝申し上げます。

本校は、全国に七校しか
 ない全日制・定時制・通信制の
 三つの課程を併設する特色あ
 る高等学校として、創立三十
 二年目を迎えております。この
 間の本校の同窓生は、昭和五
 七年の第一回卒業生一九三名
 から、平成二十二年卒業生三
 四九名まで、総計八〇八〇名
 を数えます。

昨年六月、平成二十三年度同
 窓会第一回役員会に参加いた

しました。その中で、平川会
 長はじめ多くの役員の方々の
 本校に寄せる「母校愛」の深
 さに直接触れることができま
 した。「江津高校」から「湧
 心館高校」へと校名が変わっ
 ても、同窓生の皆さまの揺る
 ぎない母校への思いや期待に
 何ら変わりがないことを知る
 機会となりました。

さて本年度の教育目標を、
 「自主・責任・創造」の校訓
 のもと、(1)豊かな心を育
 む教育の充実(2)確かな学
 力を育む教育の充実(3)進
 路目標達成を目指す教育の充
 実といたしました。ひとり一
 人の生徒を大切にしたいとし
 生徒の自己実現を目標にした
 きめ細かな教育を展開してい

るところです。
 時代の変化と共に、本校生
 徒の実態も多様化してまいり
 ましたが、全・定・通いづれ
 の課程であれ本校の使命は
 「生徒ひとり一人に、この湧
 心館高校で、夢に向かって切
 磋琢磨し、豊かな心・確かな
 学力などの生きる力や困難な
 中でも逞しく生き抜くことが
 できる力などを身に付けさせ、
 自信と誇りを持って学舎から
 羽ばたかせること。そして社
 会的自立・職業的自立ができ
 る人間に育てること」である
 と、年頭に当たり決意を新た
 にしているところです。

新年を迎えて、また新たな
 気持ちで同窓会活動に参加し
 たいと思います。
 個人の近況といたしまし
 ては、最近始めた仕事が忙し
 くて、慌ただしい日がつづい
 ています。環境の変化に対応
 するべく、日々奮闘している
 ところです。昨年は、同窓会
 会計として、初めての活動を
 しましたが、自分自身、反省
 すべき点もあり、これからの
 活動では改めていきたいと思
 います。

卒業生のみなさま、今年も
 よろしくお願い致します。

☆お便りコーナー

漫画家をめぐって

平成十七年度通卒 小林夕希子

この一年、私は知り合いの
 方を通じてアシスタントの経
 験を何度かさせて頂きました。
 紹介させて頂いたことへの
 感謝と共に、自分自身のスキ
 ルアップにも繋げることがで
 きました。夢や目標を決める
 時、ときに「なれるか分から
 ないから、やめた方が」と
 人から思われることもあるか
 もしれませんが、目標を持つ
 て進むことは、その時の自分
 が進む方向性を示してくれる
 ものだと思います。もし仮に、
 自分が憧れたことと違う道に
 進んだとしても、それが、自
 分にとって必要な方向に引き
 寄せられた、ということなの
 でしょう。ですが、一心に続
 けていった人が、夢や目標を
 叶えるのだとは思っていま
 す。春の時期。皆さんの望む
 こと、挑戦したいことが、沢
 山叶う時期になりますように。

会社設立しました!

平成二十年通卒 高橋 和子

卒業して、早、三年が過ぎ
 ようとしています。私は、江
 津高校時代に入学、途中休学
 し、十八年ぶりに学校に向
 いた時には湧心館高校と校名
 が変更され、私も三十七歳と
 なっていました。事務室を訪
 ね、学校に通いたいと伝えた
 その日のことは、今でも忘れ
 られません。在学中は、高校
 生の長男と中学生の次男にレ
 ポート作成を手伝ってもらい
 ながらの高校生でした。三年
 間の高校生活で「家族の絆」
 「年齢を超えた友達」「積極
 な活動」の貴重な三つを得る
 ことができました。現在、私
 は介護保険事業の会社を、一
 人で立ち上げ、奮闘していま
 す。きっかけは、パソコンク
 ラブでパワーポイントを使っ
 た資料作成を希望し、先生方
 に指導していただきました。
 ご老人の薬の管理についてま
 とめたところ、知り合いの薬
 剤師会より、発表の場をも
 けて頂けることになりました。そ
 れが大きな自信となりました。
 卒業後、早速、会社設立を目
 標に準備をし、頑張れば頑張
 るほど、周囲の協力を得るこ
 とが出来ました。一人で仕事
 をするのはとても大変ではあ
 りますが、同級生や家族みん
 なが応援してくれれます。一人
 の会社から二人、三人と従業
 員を増やし社会に大きく貢献
 できるように、現在頑張っ
 ています。私は、いつも考
 えていることがあります。それは
 「個性」という言葉です。周
 りと比べられると目立たない、
 変わった人かも知れないが、
 私は、独りしかいない、私に
 しかできないことを考えなが
 ら日々生きていると、ちょっ
 とした事かもしれないが、
 目線が変わってきたように思
 います。また、いろんなこと

にチャレンジしています。
 「出来ません」の言葉をもち
 いず、「まずはチャレンジさ
 せて戴きます。」の精神でお
 客様に接しています。
 結びに皆様とも、湧心館高
 校の卒業生として、一緒に頑
 張っていけたらと思います。

平成二十四年度行事予定

4月9日(月)	入学式(全日制)
4月10日(火)	入学式(定時制)
4月15日(日)	入学式(通信制)
5月12日(土)	体育大会(全日制)
6月10日(日)	県定通体体育大会
9月28日(金)	前期卒業式(通信制)
9月30日(日)	文化発表会(通信制)
10月13日(土)	湧心祭(全日制)
10月14日(日)	県定通文化大会
11月9日(金)	湧定祭(定時制)
3月3日(日)	卒業式(通信制)
3月2日(土)	卒業式(定時制)
3月1日(金)	卒業式(全日制)

平成22年度同窓会決算書

1. 一般会計 (収入の部)					2. 特別会計				
科目	当初予算額	補正予算額	決算額	増減	収入	支出	残高	備考	
会費	1,800,000		1,750,000	△50,000	前年度繰越金			残高は平成23年度へ繰り越し	
雑収入	645,693		645,693	0	本年度繰入金				
雑収入	307		209	△98	預金利子				
計	2,446,000		2,395,902	△50,098	計	4,086,231	0	4,086,231	
3. 監査報告									
関係諸帳簿及び書類を監査した結果、上記のとおり相違なく正確かつ適法に執行されていることを認めます。					監査委員 志田正明 宇野春美 山口美重子				
平成23年5月22日									

平成23年度同窓会予算書

1. 一般会計 (収入の部)					2. 特別会計				
科目	当初予算額	前年度予算額	増減	備考	収入	支出	残高	備考	
会費	1,800,000	1,800,000	0	全日制 120名×5,000円 定時制 40名×5,000円 通信制 200名×5,000円	前年度繰越金			残高は平成23年度へ繰り越し	
雑収入	444,364	645,693	△201,329		本年度繰入金				
雑収入	136	307	△171	預金利息	預金利子				
計	2,244,500	2,446,000	△201,500		計	4,086,231	0	4,086,231	
3. 監査報告									
関係諸帳簿及び書類を監査した結果、上記のとおり相違なく正確かつ適法に執行されていることを認めます。					監査委員 志田正明 宇野春美 山口美重子				
平成23年5月22日									

(1) 前年度からの繰越金 4,086,231円

創立32周年の本年度は新入生157名(普通科117名、情報処理科40名)を加え、生徒総数419名にてスタートしました。平成23年4月8日(金)、本校第1体育館にて第15回入学式が行われ、蒼洋高校から着任された第十六代校長坂本道行先生が「自主・責任・創造」の校訓のもと、生徒一人ひとりの個性を重視し「きらりと光る生徒」の育成を目指し、「誰かに授業を受けさせられたい」という受け身ではなく、自ら進んで授業を受けているのだ」という自主的・能動的な姿勢を持つことを決意するようにと述べられました。

4月13日(水)から2泊3日の日程で合志市JA教育センターにおいて、1年生の宿泊研修を実施しました。この研修を通して寝食を共にして学んだことが湧心館魂として3年間の学校生活の基礎となります。5月2日(月)に体育大会を実施しました。雨天順延となりましたが、2、3年生によるマ

近況 全日制

教頭 今村 稔



スゲームや1年生による武道発表など300人近くの観客がありました。5月 末には 高校総 体・高校総文祭が開催され、総体開会式がKRWINGで行われ、本校生も元気よく行進しました。今年度より発足した剣道部や卓球部などの各部が活躍しました。総文祭では生徒の書が展示されるとともに演劇部が出演しました。夏の高校野球県大会予選は八代県営球場にて文徳高校と対戦して惜敗しました。野球部は秋季大会では松橋高校に延



昨年度は14名がボランテアの単位を取得しました。

長12回の激戦の末に勝利を収めました。7月4日(月)から3日間、2年生の進路研修(インターンシップ)を実施しました。暑い中それぞれの進路目標にあわせて貴重な学習体験をしました。10月14日(金)、15日(土)には文化祭を行いました。太鼓部や各クラスの発表・食バザーなどで盛り上がりました。例年通り育友会の食バザーもありおいしい食事をいただくことができました。芸術鑑賞ではベルリン在住の出田りあさんが本校のために帰国され、体育館ですばらしいマリリン・バ演奏を鑑賞しました。

進路状況としては、進学面では熊本学園大学等に合格しています。今後、私立大学や国立大学の入試が予定されており、就職面は大変厳しい状況の中で地元企業等に内定しています。是非、同窓生の皆様から雇用情報をご連絡いただければと願っております。

近況 定時制

教頭 山部優香里

定時制は、49名の新入生を迎え、生徒総数226名(男130名、女96名)で幕を開けました。坂本校長先生は、今年度の教育の重点目標に「豊かな心と確かな学力の育成、進路目標の達成」を掲げ、現在全職員で取り組んでいます。また、文部科学省教育課程研究指定校として「自尊感情とコミュニケーション能力の向上」をテーマに研究しています。生徒の活躍とともに紹介します。○「自尊感情とコミュニケーション能力の向上」に、授業と行事の両面から取り組み、授業では生徒の発言が活発になるように言語活動(発問、指示など)を工夫し、分かる授業を創造しています。行事では、生活体験発表会と湧心館を重点取組として、生活体験作文や友達に宛てたメッセージカードの効果が上がるように、様々な課題を解決するつもりです。

○第61回県定通大会(11月9日)は、平成9年以来的の交流会で、出水南地区の方々13名から伝統的料理「寿司」を作った。米食の良さを学ばせていただきました。その後、会食と交流を行い、コミュニケーションの深まった有意義な体験となりました。○第44回湧心祭(11月16日)は、今年度初の日曜祭。恒例の竹あかり、男女装コンテスト、ステージ発表、展示、バザー、お化け屋敷で大盛況でした。また、振興会には豚汁等のバザーで盛り上げていただきました。外部から多数の参観もあり、生徒、職員が輝き、思い出深い一日となりました。

○進路決定状況(11月末現在)は、進学決定者9名(熊本学園大学、熊本市医師会立看護学校、熊本電子ビジネス専門学校等)、就職決定者は7名です。卒業予定者全員が進路を決定しています。○各種検定取得状況(11月末現在)は、全商簿記実務検定「1級会計1名、2級2名」、全商簿記2級12名、3級16名、全商簿記検定「3級8名」、全経簿記能力検定「2級1名、3級8名」に合格しました。

○第61回県定通大会(10月)のオープニングを太鼓部が飾り、弁論部に校内生活体験発表会で優れた発表をした井上瞳さんが出場しました。ステージでは「月の沙漠」の吟詠、ハンドベルとピアノ演奏、そして歌に合わせて書かれた作品を披露しました。また、1年生がドーナツと団子を販売し、湧心を一杯アツくしました。

○くまもと教育の日「地域の方との調理交流会」(11月9日)は平成9年以来的の交流会で、出水南地区の方々13名から伝統的料理「寿司」を作った。米食の良さを学ばせていただきました。その後、会食と交流を行い、コミュニケーションの深まった有意義な体験となりました。

○第44回湧心祭(11月16日)は、今年度初の日曜祭。恒例の竹あかり、男女装コンテスト、ステージ発表、展示、バザー、お化け屋敷で大盛況でした。また、振興会には豚汁等のバザーで盛り上げていただきました。外部から多数の参観もあり、生徒、職員が輝き、思い出深い一日となりました。

○進路決定状況(11月末現在)は、進学決定者9名(熊本学園大学、熊本市医師会立看護学校、熊本電子ビジネス専門学校等)、就職決定者は7名です。卒業予定者全員が進路を決定しています。○各種検定取得状況(11月末現在)は、全商簿記実務検定「1級会計1名、2級2名」、全商簿記2級12名、3級16名、全商簿記検定「3級8名」、全経簿記能力検定「2級1名、3級8名」に合格しました。

○くまもと教育の日「地域の方との調理交流会」(11月9日)は平成9年以来的の交流会で、出水南地区の方々13名から伝統的料理「寿司」を作った。米食の良さを学ばせていただきました。その後、会食と交流を行い、コミュニケーションの深まった有意義な体験となりました。

○第44回湧心祭(11月16日)は、今年度初の日曜祭。恒例の竹あかり、男女装コンテスト、ステージ発表、展示、バザー、お化け屋敷で大盛況でした。また、振興会には豚汁等のバザーで盛り上げていただきました。外部から多数の参観もあり、生徒、職員が輝き、思い出深い一日となりました。

○進路決定状況(11月末現在)は、進学決定者9名(熊本学園大学、熊本市医師会立看護学校、熊本電子ビジネス専門学校等)、就職決定者は7名です。卒業予定者全員が進路を決定しています。○各種検定取得状況(11月末現在)は、全商簿記実務検定「1級会計1名、2級2名」、全商簿記2級12名、3級16名、全商簿記検定「3級8名」、全経簿記能力検定「2級1名、3級8名」に合格しました。

○くまもと教育の日「地域の方との調理交流会」(11月9日)は平成9年以来的の交流会で、出水南地区の方々13名から伝統的料理「寿司」を作った。米食の良さを学ばせていただきました。その後、会食と交流を行い、コミュニケーションの深まった有意義な体験となりました。

○第44回湧心祭(11月16日)は、今年度初の日曜祭。恒例の竹あかり、男女装コンテスト、ステージ発表、展示、バザー、お化け屋敷で大盛況でした。また、振興会には豚汁等のバザーで盛り上げていただきました。外部から多数の参観もあり、生徒、職員が輝き、思い出深い一日となりました。

○進路決定状況(11月末現在)は、進学決定者9名(熊本学園大学、熊本市医師会立看護学校、熊本電子ビジネス専門学校等)、就職決定者は7名です。卒業予定者全員が進路を決定しています。○各種検定取得状況(11月末現在)は、全商簿記実務検定「1級会計1名、2級2名」、全商簿記2級12名、3級16名、全商簿記検定「3級8名」、全経簿記能力検定「2級1名、3級8名」に合格しました。

○くまもと教育の日「地域の方との調理交流会」(11月9日)は平成9年以来的の交流会で、出水南地区の方々13名から伝統的料理「寿司」を作った。米食の良さを学ばせていただきました。その後、会食と交流を行い、コミュニケーションの深まった有意義な体験となりました。

○第44回湧心祭(11月16日)は、今年度初の日曜祭。恒例の竹あかり、男女装コンテスト、ステージ発表、展示、バザー、お化け屋敷で大盛況でした。また、振興会には豚汁等のバザーで盛り上げていただきました。外部から多数の参観もあり、生徒、職員が輝き、思い出深い一日となりました。

○進路決定状況(11月末現在)は、進学決定者9名(熊本学園大学、熊本市医師会立看護学校、熊本電子ビジネス専門学校等)、就職決定者は7名です。卒業予定者全員が進路を決定しています。○各種検定取得状況(11月末現在)は、全商簿記実務検定「1級会計1名、2級2名」、全商簿記2級12名、3級16名、全商簿記検定「3級8名」、全経簿記能力検定「2級1名、3級8名」に合格しました。

4月17日、130人の新入生を迎え、総生徒数839人で平成23年度の通信制がスタートしました。入学式では、坂本道行校長が式辞の中で、皆さん一人一人が、この湧心館高校で、共に学ぶ仲間であることを、将来を見据えた目標を持って、自主的に学習に取り組んでほしい。善悪の判断ができる責任感の強い人を目指してほしい。と、期待したい三つのことを話されました。これを受けて、新入生代表の上村道子さんが本校で学ぶ決意を力強く宣誓しました。

4月24日から本校スクーリング、5月1日から協力校スクーリングが開始されました。6月12日、あいにくの大雨の中、第61回熊本県高等学校定時制通信制総合体育大会が本校体育館で行われ、バドミントン女子、卓球男子が見事、団体優勝を果たしました。そのほか、個人戦でもバドミントン女子個人戦ダブルス、剣道男子が優勝、その他も準優勝など上位入賞を果たし、通信制の部活動の強さをアピールしました。この結果を受けて、8月初旬より東京を会場とした全国高等学校定時制通信制総合体育大会に臨み、どの競技も善戦しました。その中でも、バドミントン男子は3位という見事な結果を残しました。

9月30日には2回目の前期卒業式を行いました。4年生7名に学校長から卒業証書が授与され、卒業生代表の中村有希さんが保護者・学校への感謝の気持ちを述べ、将来の希望を胸に学舎を巣立っていかれました。

10月2日には校内弁論大会を行い、4人の弁士が自分の生活体験発表を行いました。どの発表も感動的かつ胸の熱くなるものでした。その中で「二人じゃない」と題して発表した2年生の國武美里さんが学校代表として県の定通文化大会に出場することになりました。

また、文化発表会も同時開催され、書道・美術選択者、陶芸クラブ、生活クラブ、生物クラブの作品が展示され、制作にかかる限られた短い時間の中で、どの作品もその人の個性や主張が表れるすばらしいものに仕上がっていました。全員合唱においては、心を一つにして歌い、通信制の仲間が輪ができました。

10月16日には熊本県高等学校定時制通信制文化大会が県立劇場を会場として開催されました。午前に弁論大会、午後にはステージ発表が行われ、弁論大会では國武さんが、全大会出場には及びませんが、堂々とした発表をしてくれました。また、ステージ発表では、1年の牛島徳子さんのピアノ独奏があり、観客を魅了し大好評でした。

会 則

- 第一章 総則
 - 第一条(名称) 本会は熊本県立湧心館高等学校同窓会(以下「本会」と称する)とする。
 - 第二条(事務局) 本会の事務局は熊本県立湧心館高等学校内に置く。
 - 第三条(目的) 本会は会員相互の親睦並びに会員との連絡を図り、母校の発展充実に協力することを目的とする。
 - 第二章 組織
 - 第四条(会員) 本会は次の会員をもって組織する。
 - 1 正会員 本会の正会員は江津高等学校・湧心館高等学校卒業者をもって構成する。
 - 2 特別会員 江津高等学校・湧心館高等学校職員・旧職員をもって構成する。
 - 3 名誉会員 特に本校の充実に著しい功績をもつて入会者で、本会が推挙した者。
 - 5 第五条(支部) 本会は必要に応じて支部をおくことができる。
 - 第六条(部会) 本会に定時制部会・通信制部会・全日制部会を置く。
 - 第三章 事業
 - 第七条(事業) 本会はその目的を達成するため次の事業を行う。
 - 1 会員名簿及び会誌の発行。
 - 2 母校の教育発展のため協力する。
 - 3 その他適当な事業。
 - 第四章 役員
 - 第八条(執行役員) 本会の執行役員は次のとおりとし、任期は二年とする。但し再任を妨げない。
 - 1 会長 一名
 - 2 副会長 三名(各部会一名)
 - 3 顧問 若干名
 - 4 部会代表委員 各部会の卒業年度及び各支部より若干名とし、定時制部会五名、通信制部会二十名、全日制部会五名計三十名を上限とする。
 - 5 書記 一名
 - 6 会計 一名(各部会一名)
 - 7 監査 三名(各部会一名)
 - 8 九条(委員) 学年代表委員(クラス委員)及び学年代表委員(学年代表委員)は、学年代表委員一名はクラス委員による互選とする。なお、学年代表委員と部会代表委員は兼務できるものとする。また、任務継続ができないう事象が発生した時は、所属する年次の各委員と相談の上、各自責任をもって交代や代理をたてて会の運営に協力すること。
 - 九条(役員) 役員は左記のとおりとする。
 - 1 会長は本会を代表し会務を総括する。
 - 2 副会長は会長を補佐し、会長の命あるときはその職務を代行する。
 - 3 顧問は本会の諮問に答える。
 - 4 部会代表委員は、学年代表委員、クラス委員、年次別クラス別の連絡その他の責任者となり、委員会を構成する。
 - 5 書記は本会の庶務を担当し、会議記録、通信、その他一切の事務を処理する。
 - 6 会計は本会の会計を処理し、総会に報告する。
 - 7 監査は同窓会事業会計、周年行事、校友会の監査に当たる。また、監査三名中最低二名の署名捺印があれば監査業務は完了したものとす。
 - 第十条(役員選挙) 役員は選出方法は次のとおりとし、これを推薦し、総会の承認を受ける。
 - 11 会長、副会長はこれを推薦し、総会に報告する。
 - 12 顧問はこれを推薦し、総会に報告する。
 - 13 各委員はこれを推薦し、総会に報告する。
 - 14 支部で互選し、総会に報告する。
 - 15 書記はこれを推薦し、総会に報告する。
 - 16 会計はこれを推薦し、総会に報告する。
 - 17 監査はこれを推薦し、総会に報告する。

編 集 後 記

会員の皆様「江極だより」二十三年をお届けいたします。今号は、三十二年目を迎えた母校の近況を、定時・通信・全日三課程の活動など掲載しましたのでご覧下さい。皆様のご意見ご感想等、同窓会事務局までお寄せいただければ幸いです。 江極編集委員会

お 願 い

会員の身上に、変更(住所や氏名等)が発生した場合は、速やかに同窓会事務局へ! 電話 096・372・5311 Fax 096・364・9382